

新潟の学校給食の現状について、保健給食課の方に口頭で説明していただいた内容を、メンバーがまとめました。

#### 食材の産地について

施設毎に食材を購入しているため、保健給食課では各施設で使用している食材の産地を充分把握できていない。しかしながら、保健給食課から各学校の担当者に、購入の際には汚染食材に充分配慮するようには伝えている。現在、新潟市の給食で使用している食品目のうち、概ね30%は県内産だが、残りは県外産である。

#### 食材の産地公表について

当日朝に、食材を購入して学校に搬入するため、事前に産地を公表することは難しいが、当日以降であれば可能かもしれない。

#### 食材の放射能測定結果の公表について

食材の測定結果が、国の定めた基準値以下である場合には、そのような結果を公表すると生産者からクレームがくるため、現時点では公表しない方針をとっている。我々は国の基準値を踏まえたうえで、子どもに安全な給食を出せるように努力している。

#### 弁当持参について

以前から、食物アレルギーのお子さんは、弁当を持参している。放射能を理由に弁当を持参することは可能である。市内で既に持参している子どももいる。